

# 令和7年度 江平小学校 学校運営協議会 実施報告

## 1 学校の概要

学校名	都城市立江平小学校		校長名	甲斐 かおり	
学級数	4	児童生徒数	37名	職員数	9名
教育目標	心豊かで たくましく生きる江平っ子の育成 ○ よく考える子    ○ 心豊かな子    ○ たくましい子				

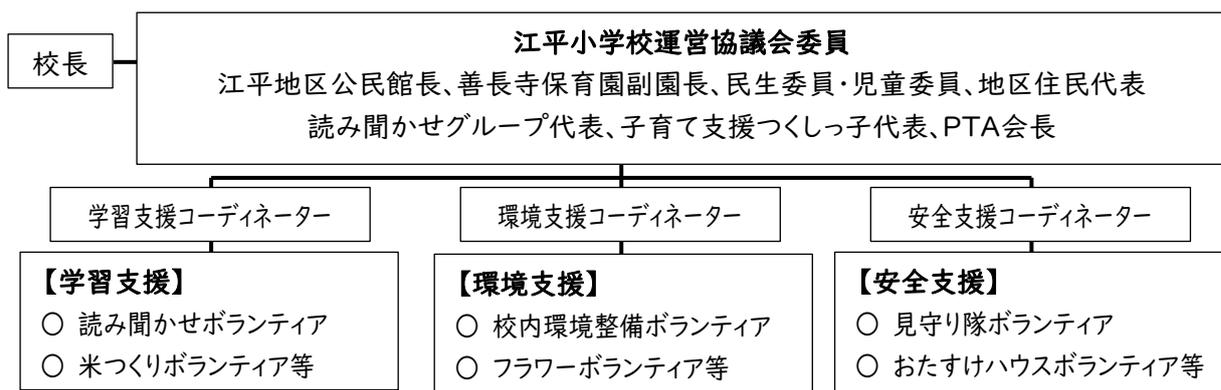
## 2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員 (計8名)・事務局 (計2名)

学 校 運 営 協 議 会 委 員	No.	所属名 (役職)	氏 名	備 考
	1	江平地区公民館長	東 純孝	会長・環境支援コーディネーター
	2	善長寺保育園副園長	教山 尚子	
	3	民生委員・児童委員	吉山 鉄也	安全支援コーディネーター
	4	江平地区住民代表	大迫 栄一	
	5	読み聞かせ代表	立山 美穂	学習支援コーディネーター
	6	社会福祉協議会	大牟田智子	副会長
	7	子育て支援つくしっ子代表	萩原 悦子	
	8	PTA 会長	村橋 裕樹	

事 務 局	役 職	氏 名
	校 長	甲斐かおり
	教 頭	石井 仁

(2) 組織編制



## 3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
4 月	・学校運営協議会委員選出 ・見守り隊 (通年) ・読み聞かせ (通年)
5 月 23 日	・第1回学校運営協議会、授業参観 (趣旨説明、委嘱状交付、学校経営ビジョン説明、年間活動計画)
6・9 月	・環境整備
6~12 月	・総合的な学習の時間 (3~6 年 米づくり体験)
7 月 4 日	・第2回学校運営協議会 (学校の課題等に関する状況、学校評価の確認等)、授業参観
8 月 4 日	・高崎地区合同学校運営協議会 (各学校の実践報告等)
9 月 12 日	・第3回学校運営協議会 (学校の課題等に関する状況、アンケート内容の検討等)、授業参観
12 月 1 日	・総合的な学習の時間 (3・4 年 ふれあいグラウンドゴルフ)
12 月 16 日	・TZミーティング (オンラインの様子を参観)
1 月 27 日	・第4回学校運営協議会 (アンケート結果と自己評価書報告検討)、授業参観
2 月 20 日	・第5回学校運営協議会 (評価報告書確認、助言・提言事項検討)
3 月 3 日	・ボランティア感謝集会
3 月	・次年度へ引き継ぎ、準備

#### 4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

8月：「地域と学校が連携して「人間力」を育てるには」

#### 5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

##### (1) 学校支援活動

本年度は、8名の委員で学校運営協議会を構成した。組織は、学習支援・環境支援・安全支援の3つの組織を構成し、教育活動から環境面まで支援を行っていただいた。

##### ○ 環境整備（環境支援）

6月、9月の奉仕作業時に環境支援コーディネーターを中心として公民館長や地域の方々による環境整備活動が行われた。

校内の学習林「江楽園」の整備を行い、彼岸花が育ちやすく、鑑賞しやすい環境を整えていただいた。



【江楽園の様子（秋）】

##### ○ 米作り体験（学習支援）

6月に田植え、9月に稲刈り、12月に餅つきの体験学習を行った。この体験学習においては、田や稲の管理から、餅つきのサポートまで、学校運営協議会会長を中心に地域の方々に行っていただいた。



【餅つきの様子】

##### ○ 登下校の見守り（安全支援）

本校の通学路には、信号機のない交差点や交通量の多い道路などが多数見られる。そこで、児童の安全な登校のための見守り活動を安全支援コーディネーターが中心となって行っている。

登校時の児童の様子についても、随時お知らせいただいている。

##### (2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

○ 「午前中の時間設定について再検討してほしい」との意見を受けて、午前中5時間授業の設定を見直し、1週間をとおして午前中4時間授業で校時程を再編成した。

その結果、児童の疲労感の減少だけでなく、時間の見直しをもって行動しやすくなったり、余剰時数が多い低学年の時数の適正化を図ったりすることができた。

##### (3) 地域貢献活動

○ 学校運営協議会の中で、地域の方々と児童が気軽に交流できる場面があるとよとの意見が挙げられたので、地域の方々と児童が、それぞれ話をしたり遊んだりできる「ふれあいタイム」を第2・第4水曜日の昼休みの時間に設定し、運営を学校運営協議会が行うこととした。地域を明るくする活動の一つとして、また、社会性を育む活動の一つとして、学校と地域に共にメリットのある活動となった。



【ふれあいタイムの様子】

#### 6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 児童と地域の方々が、活動を共にすることで、相互に理解を深めることができた。
- 活動をサポートしていただける人材を集めていただき、円滑に活動を行うことができた。
- 活動の内容の見直しや充実させていくことを通して、キャリア教育を一層推進していくことが必要である。
- 活動を円滑に進めるために、今年度同等程度の人材を確保することが必要である。

#### 7 次年度の方向性

- 児童の「地域を明るくする活動」の充実を図る。
- 協力者の確保に努め、活動の円滑な実施を図る。